

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度下半期）

2 認知症施策の推進

| 評価項目 | 分野 | 年間 目標値 | 上半期 実績値 | 下半期 実績値 | 年間実績値 | 達成 度 |
|--|----|---|---------------|----------------|----------------|---------|
| ⑬医療・介護サービスにつながった割合（認知症初期集中支援チーム） ※累積値 | 介護 | 65% | 75% (6/8件) | 64% (7/11件) | 64% (7/11件) | B |
| | | 会議にてチーム員から医療に繋げるためのアドバイスが様々になされ、目標値をおおむね達成。チーム員のスキルアップにより、包括支援センター内で対応完了するケースも増えており、令和6年1月から包括支援センター内で対応完了したケース数の報告を開始し、活動実態把握を行っている。令和4年度の実績値は80%（4/5件）の実績値であり、令和5年度の実績値は令和4年度と比較すると割合は落ちているが、相談件数は増加している。 | | | | |

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

目標値はおおむね達成。ケース対応の「相談」の場としての役割は縮小してきており、本会議の在り方を検討し、今後は事例共有、知識を深め合う場へと軸足を移し自主的に議論をしていくことが必要。今年度は月2回2チーム会議での開催をしていたが、会議参加者を増やすこと、新たな専門職の参加のハードルを下げること、および会議運営の効率化を期待し、次年度は月1回のWEB会議開催へ変更することにより、さらに対象者を医療や介護へつなげることができるよう検討していく。

評価委員会評価

担当部署評価に記載のあるように、会議を月2回から月1回のWEB会議開催へ変更することについて、作業を効率化、重点化しており、よい取り組みである。令和4年度と比較すると、医療・介護サービスにつながった割合は落ちているものの、相談件数は増えており、件数が増加すると令和4年度と同じような割合の維持は難しくなる。総合評価については、数値としては目標値に未達であるため「B」とする。